

みなさん、こんにちは。2号室の池田です。皆さんお気づきではないかもしれませんが、実は3年連続でかわたれ3月号のコラムを担当しています。私にとって、3月と言えば『かわたれ』になりつつあります。

さて、みなさん『メリー・ポピンズ』という映画を知っていますか？メリー・ポピンズという名前の明るく優しい魔法使いが、いたずら好きの姉弟の乳母として活躍する物語です。私が初めて見たのは小学生の時。テレビで放送していたのをビデオに録画して、その後何回も何回も繰り返し見るほど大好きな映画でした。

メリー・ポピンズは映画の中で楽しい魔法をたくさん見せてくれます。中でも私が一番あこがれたのは、指をパチンと鳴らすだけで、オモチャの兵隊はオモチャ箱へ向かって行進し、脱ぎっぱなしの洋服はクローゼットの中に飛んでいき、子供部屋が次々と片付いていく魔法です。片づけが苦手なのは大人になってからも相変わらずで、今でも散らかった自分の部屋を目の前に、指をパチンと鳴らしてみたくありません。

メリー・ポピンズは魔法で子供部屋を片付けながら「たったスプーン一杯のお砂糖で苦い薬が楽に飲める」と口ずさみます。メリー・ポピンズのような魔法は使えませんが、苦手な掃除や大変な仕事の中にも、スプーン一杯の「楽しさ」を見つけられるといいな、とおもいます。

『メリー・ポピンズ』が公開されたのは今から55年前の1964年。そして今、続編となる『メリー・ポピンズ リターンズ』が公開中です。今度はどんな魔法を見せてくれるのか、映画を見るのがとても楽しみです。